

「大型在宅連休」スタート！ 岐阜県民のすべての皆さまに

1 本県最初の新型コロナウイルス患者が確認されてから2か月 (感染者149人、うち死者6人)

(1) 新型コロナウイルスは、誰でも、いつでも、どこでも身近なところに

① 旺盛な感染力

わずか一人の確認から47人に！

② 家族内感染の多発、年齢を選ばず

42人(約30%)が同居の家族から。同居三世代感染も！

③ 「夜の街」から家庭・職場感染へ

夜の街に起因するとみられる感染者は68人

④ 他県、海外からの感染

特に愛知県関係21人、海外関係5人

⑤ 突然の重症化

発症して1週間で亡くなるケースも！

(2) あなたが、ひとたび感染すると

① ご本人は隔離入院へ！

現状では治療薬・ワクチンなし。

面会謝絶。2週間から1か月、重症化すれば長期化。

② ご家族、職場の同僚、顧客など関係者全てが検査・経過観察に！

可児市クラスターのケースでは、約2,900人が対象

③ 事業所は、閉店、休業、生産ラインストップ！

④ 医療現場への負担増

日夜必死の献身的対応をいただいている医療従事者に多大な負担。

2 「大型在宅連休」に向けて

全国的に、また本県においても、3月下旬の連休に警戒意識が緩み感染の急拡大につながりました。

現在、「緊急事態宣言」にもかかわらず、岐阜市内の人の往来の減少率は4割から5割程度。目標の接触機会の8割減少にはほど遠い状態です。

この大型連休は最大12日間の休み。以下のとおり、緩みなく、感染拡大防止に取り組みしましょう。(県からの主な呼びかけは、別添)

(1) 人との接触機会を徹底して減らしましょう

不要不急の外出を自粛し、特に、帰省や旅行、都道府県をまたぐ外出を避けてください。県外におられるご家族などの皆さまにも、不要不急の往来などを避けていただきますよう。

(2) 感染リスクから遠ざかりましょう

スーパーマーケットでの買い物など、生活の維持に必要な場合でも、感染リスクが高まる場面(密閉空間・密集場所・密接場面)があります。

また、屋外の公園での遊びや、河川敷でのバーベキューなどでも、大勢の方が集まれば、感染リスクは高まります。

例えば、買い物は一人で空いている時間に出かけたり、外出時には、マスクの着用、手洗いの徹底、人との距離をしっかりと保つなど、身の回りの感染リスクを注意深く避けてください。

(3) 在宅を楽しみましょう

県美術館の収蔵作品をはじめ文化芸術を楽しむ動画や、ミナモトVを活用するなど、ご家族で「大型在宅連休」を楽しみましょう。

令和2年4月24日

岐阜県知事

古田 肇